

令和5年度 第3回 藤沢市立湘洋中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年9月12日（火） 14時～

場 所 藤沢市立湘洋中学校 視聴覚室

出席委員	<p>品田 雅 (会長・辻堂東地区主任児童委員) 坪谷 麻貴 (副会長・湘洋中学校校長) 濱本 龍彦 (ネットワーク湘南堂夢会長) 齋間 道雄 (辻堂地区青少年育成協力会会長) 松浦 邦恵 (辻堂東地区民生委員) 近藤 眞由美 (辻堂東海岸2丁目町内会副会長) 蜂須賀 直 (前湘洋中学校PTA会長) 叶多 弘和 (元湘洋中学校PTA会長) 大谷 ますみ (元湘洋中学校PTA広報委員長) 桐山 桂子 (元湘洋中学校PTA本部役員) 竹花 真吾 (湘洋中学校PTA会長) 横田 純一 (辻堂市民センター長) 村上 純子 (社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会辻堂地区コミュニティソーシャルワーカー) 繁里 勇 (湘洋中学校教頭)</p> <hr/> <p>出席委員 14名 (欠席委員：0名) 事務局 山田 幸穂 (湘洋中学校養護教諭) 傍聴人数 1名</p>
次第	<p>1. 開会 2. 議題 (1) 湘洋中学校の生徒を取り巻く課題について ①不登校生徒への支援について ②部活動の地域連携について (2) 学校評価について 3. その他 次回の会議日程 11月20日（月）午前10時から 5. 閉会</p>
協議内容	<p>(意見等) 2. (1) ①不登校生徒への支援について 委員 (学校)：以前は不登校生徒が学校に登校できることを目標としていた。現在はなぎさルームを開設し、教室以外で生徒を支援している。学習支援員の拡充、学校外の居場所、家庭への支援など様々課題がある。 前回の会議で様々なご意見をいただいているので、本日は具体的な取組、アイデアについてご意見いただけたら。 ～グループ協議で出た意見～ ・民生委員として不登校生徒の家庭とつながっていくことが、なかなか難しい。なぎさルームで支援員として生徒とつながり、そこから保護者と関わりを持っていくのはどうか。 ・地域のイベントを開催し、不登校生徒にも参加してもらう。</p>

- ・不登校の原因は様々。いじめ、体調不良、発達障がい、友人・教員との関係。
- ・学校以外で居場所があるとよい。子どもが楽しいと思える場所。
- ・なぎさルーム等で地域の方に講演会等を行ってもらおう。様々な人と関わり、コミュニケーションを取れる場所を作る。
- ・「教室に行きたくない」ではなく「学校に行きたくない」生徒にとっては、なぎさルームに行くこともつらいのではないか。学校外で子どもが行ける場所があるとよい。
- ・不登校になりかけている生徒の保護者は、不安な気持ちだったりして、情報が必要なのではないか。不登校生徒の保護者同士の情報交換の場があるとよい。また、学校に登校できるようになった子ども本人や、保護者にも話を聞くことができるかと参考になる。
- ・教員によって不登校生徒への対応は様々。教員同士でも対応について話し合うことが必要。
- ・友だちからの声かけが登校のきっかけになったこともあった。

委員：不登校生徒の家庭に担任が働きかけていたが、熱心に行いすぎてうまく行かなかったという話も聞いたことがある。

委員：学校以外の居場所について、辻堂青少年会館は卓球台や囲碁将棋があり自由にできる。友達がいれば一緒にやったり、いなければ地域の大人や保護者と一緒にできたりすれば良いのでは。午後開放している。午前も空いていれば学校に行けない子どもたちが使用できる。居場所づくりとして依頼してみるとよいのでは。

委員：不登校生徒の保護者は孤立しがち。情報交換できる場があればよい。前に不登校だった子供や親が情報交換できる場があるといい。

委員：不登校の理由は様々ある。原因がはっきりしているものは解決していかなければならない。不登校で学ぶこともある。子どもたちがコミュニケーションをとれる、居場所づくりが必要。「おはよう・ありがとうなど挨拶をする」「身の回りの整理整頓・清掃をする」2つを子どもたちに伝えたい。

委員：地域のスポーツ団体と協力する。鶴南 FC は幼稚園生から所属しているので、中学生が面倒をみる、一緒に遊ぶなどもよいのでは。

委員：教室には行けないけど、なぎさルームなどでは、勉強を他の子に教えたり、面倒見がいい子供もいる。

2. (1) ②部活動の地域連携について

委員（学校）：部活動の取組を、地域の子どもたちの取組として持続可能なものになるように意見をいただきたい。例えば、サーフィンなどマリンスポーツをやりたいと思っている子どもなど、子どものニーズを叶えるためにできること。

委員：7月に地引網を行った時に一緒にサーフィン教室も開催した。一度も経験ない子どもが対象。町内会にサーフィン関係の仕事などを行っている人がいて、インストラクターの依頼もできた。機会を作ってあげれば参加したい子どももたくさんいるのではないか。

委員：地域移行は教員の働き方改革が目的なのか、生徒のニーズに対応するため、受け皿が目的なのか。

委員（学校）：最初に国が地域移行をスタートした理由は教員の働き方改革のた

めだったが、学校によっては部活数が少ない（女子が入れる部活が少ないなど）、人数が少なくチームが成り立たないなど、様々な問題があった。学校の部活動という選択肢だけでなく、地域にも選択肢が必要。教員の働き方と子どものニーズ両方が目的。

委員（学校）：競技として行いたい子ども、趣味で楽しく行いたい子どもがいて、それぞれ考え方が違うので難しい部分もある。

委員（学校）：自分の学校に入りたい部活がなかったとき、他の中学に部活に参加してよいのか。

委員（学校）：本校の女子サッカー部は他校から参加している。遠くの学校までの移動で事故等の心配もある。

委員：地域の教室（書道・着付けなど）に協力してもらい部活動として活動するのはどうか。少し月謝を安くしてもらおうなど。

委員：保護者に負担してもらうことになるが、報酬を払って指導してもらおうという案が国からも出ている。

委員：部活動は指導者がいないと成立しない活動なのか。生徒が主体的に活動し、足りない部分を教員や指導者が補うのが本来の姿ではないか。

委員：学校から地域にどんなことをしてほしいか優先順位をつけて出してもらいたい。

委員：地域移行は学校単位か、藤沢市単位なのか。

（２）学校評価について

委員（学校）：学校関係者評価をしていただきたい。開かれた学校づくりにつながるように①自己評価（教職員）、②生徒保護者評価をまとめたものを２月に学校運営協議会で評価する。評価アンケートの質問案をみていただき、何かご意見があったら今月中に学校まで。

（３）その他

学校：文化祭と合唱祭について、お時間あればぜひ参加していただきたい。また、10月12日が学校公開日になっている。

学校行事について、これまで通りでなく、今後変えていくことになるので、何かご意見などあれば教えていただきたい。

次回開催日程 2023年11月20日（月）午前10時～
場所 藤沢市立湘洋中学校 視聴覚室